

公益社団法人寄居町シルバー人材センター会員の就業規約

第1章 総則

(目的)

第1条 この規約は、公益社団法人寄居町シルバー人材センター（以下「センター」という。）の会員の就業に関する事項を定めることを目的とする。

(センターにおける就業)

第2条 センターは、定款の目的に基づき、会員が自発的に働く意欲と希望によりその能力を発揮できる就業の機会を提供し、相互共助・共働の実をあげようとするものである。

2 会員は、就業にあたって社会的地位、門地、性別、信条、宗教、国籍などの理由で差別取扱いを受けない。

第2章 就業

(仕事の受注)

第3条 センターにおける仕事の受注は、会員から付託を受けセンターが一括してその交渉にあたるものとし、会員は、発注者と受注又は作業条件等につき、直接の交渉当事者とならない。

(会員の合意)

第4条 センターは、受注した仕事について、就業希望会員とあらかじめ業務内容、作業時間、完了予定日、配分金等について打ち合わせを行うとともに「終業期限の設定に関する基準」に基づき就業する会員の合意を得るものとし、その決定事項を文書に記録するものとする。

2 会員は、就業報告書を携行し、契約内容に即した仕事に従事したうえ、その状況を就業報告書に記録し、本人及び発注者の確認を行い、就業の終了又は就業報告書締切期日後速やかにセンターに提出しなければならない。

(健康と能力に応じた就業と安全衛生)

第5条 センターは、その受託した仕事との関係において、就業会員の安全衛生、災害防止等に配慮するとともに、会員の健康と能力に応じた就業を提供するよう努力するものとする。

(業務上の留意事項)

第6条 会員は、就業にあたり相互に次の点に留意すること。

(1) センターから提供された仕事について誠実に履行するよう努めること
(2) やむを得ない事情で約束の就業ができない場合は事前にセンターに届けること。

(3) 就業上知り得た業務上の機密事項及び発注者の不利益になることは他

にもらさないこと。

- (4) 就業に当たっては安全衛生の確保に万全の注意を払い、災害発生の防止に努めること。
- (5) 就業不適格行為等に対する取扱規則（平成28年4月1日制定）に定められた就業不適格行為等を行わないこと。なお、他の会員の就業不適格行為等を確認した場合は、理事長に対して措置を申し入れることができる。

第3章 共同作業

（共同作業の留意事項）

第7条 会員が共同作業を必要とするときは、以上の就業に関する定めに加え、次の点に留意すること。

- (1) 就業会員は、その中からリーダー（世話人・班長）を互選する。リーダーは就業会員の作業手順、安全衛生、健康状態、休息时间、会員相互の連携及び発注者との打合せなどにつき、センターに協力すること。
- (2) 就業会員は、仕事の遂行について相互に助け合い協力すること。
- (3) 就業会員は、常に明るい雰囲気のもとで就業できるよう、共同責任分担の精神をもって努力すること。
- (4) 就業会員が就業中、けがをし、又は身体や健康状態が異常となる等、若しくは、第9条に相当する事故が発生する等の不測の事態が発生したときは、共同作業中の会員は、直ちにリーダー及びセンター又は発注者に連絡を行う等の緊急の措置をとるようにすること。

第4章 傷害保険

（傷害保険）

第8条 会員の就業中などにおける死傷については、「シルバー人材センター団体傷害保険」約款の定めるところにより、補償されるものとする。

- (2) 受傷者、共同作業会員又は会員の家族は、事故後遅滞なくその内容をセンターに届けて指示に従うこと。

第5章 損害保険

（損害保険）

第9条 会員が就業中、発注者又は第三者の身体若しくは財物に損害を与えたときは、「シルバー人材センター総合賠償保険」約款の定めるところにより、賠償を担保されるものとする。

- 2 会員の故意又は重大な過失による、又は自動車の所有、使用、管理に起因する賠償責任が発生したとき等「シルバー人材センター総合賠償保険」で担

保できない賠償は、会員が負うものとする。

第5章 雑則

(規約の改廃)

第10条 この規約の改廃は、理事会において決定し、総会に報告するものとする。

附 則

この規約は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年7月25日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。